

認知症のご病気をお持ちの患者様へ

1. 研究の対象

2020年4月1日から2022年3月までに東京都健康長寿医療センターに入院し、すでに退院されている患者様

2. 研究目的・方法

当センターでは「DPCデータにおける認知症高齢者の日常生活自立度との関連性」の研究を実施しております。高齢の方の診療において疾患やその症状の他に加齢による身体的、精神的または社会的な要因を考慮する必要があります。これら要因を精査するため The Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System-21 items (DASC-21) という評価方法があります。この評価により認知症をお持ちの患者さんが日症生活のどの場面で不自由があるか客観的な目線で評価が可能となります。本研究では全国の80%の急性期病院が使用しているDPC制度から得られる情報からDASC-21の情報を予測することを目的としています。DASC-21の活用が広まることで高齢の認知症をお持ちの方の病態を幅広く捉え、診療の助けになることを期待しています。

DPC制度とは入院費用を患者さんの病名や治療行為によって定めた医療費の支払い方式のことです。このDPC制度から得られる情報を本研究では使用いたします。

具体的には、2020年4月1日から2022年3月までに東京都健康長寿医療センターに入院され、すでに退院された患者様を対象に、通常診療の中で得られた情報を取得・解析します。本研究は患者様お一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって患者様皆様からのご同意を頂いたものとさせていただきます実施いたします。なおこの研究における患者様の費用負担や謝礼などはございません。

研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

3. 研究期間

倫理委員会承認日～西暦2027年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

DPC データ

入院日、退院日、性別、年齢、身長、体重、入院時 ADL、退院時 ADL、喫煙、
主病名、入院契機病名、医療資源病名、依存症、続発症、予定入院、緊急入院、手術、
入院元、退院先、再入院の有無、保険種別、認知症高齢者の日常生活の自立度、
全薬剤処方回数、処方量、処方日、薬剤

電子カルテデータ

認知症重症度：DASC-21 (IADL、BADL)

5 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の
方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出くだ
さい。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

< 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 >

研究責任者： 東京都健康長寿医療センター 薬剤科 島崎 良知
(連絡先03-3964-1141 内2015)

-----以上